

大腸がんのお話

外科 医長 中野 正一郎 しょういちろう



今日、日本で増加傾向にあるがんとしては肺がん、乳がんとともに大腸がんが挙げられます。大腸がんは、大腸そのものが下水管の働きをしているため、排泄する糞便で常に刺激を受けていることや、近年の食生活の欧米化により多量の動物性脂肪を摂るようになったことが原因で増えてきたと考えられます。

大腸がんの、り患者数(1年間で大腸がんと診断される人の数)は13万人程度で、そのうち年間5万人(日本人の4〜5%)が大腸がんで亡くなる計算になり、がんの中では肺がんに次いで2番目に多い部位です。日本人の10人に1人が生涯のうちに大腸がんと診断されることになりま

す。

大腸がんは、早期には自覚症状がありません。また肛門に近い直腸がん、奥の方の結腸がんとは症状の現れ方も違います。症状だけですがんに気付くのは難しいですが、それでも気を配っておきたい点があります。大腸がんの代表的な症状である「出血(血便・下血)」「便通異常」「腸閉塞」の3つです。中でも、排便のときの出血は、目で見る

ことができる分かりやすい症状で、大腸がん患者の3割〜5割の人がこの理由で病院を受診します。また、痔と違って肛門科を受診される人も多く、肛門科を受診される人の1〜2%が大腸がんが発見されます。大腸がんの出血は、初めのうちはごく少量で気付かないほどですが、

便の周りに血が付くようになってきたら要注意です。出血そのものは少しずつ、じわじわと出続けるのが特徴で、直腸がんの場合は肛門に近いため血便が多くなります。トマトケチャップのような粘血便が出ることもあります。結腸がんの場合は出血をしてから時間が経つため、便の色が黒っぽくなります。

この大腸がんを早期に見出し、治療成績を向上させるために、バリウムを使う注腸X線検査やファイバースコープを挿入する内視鏡検査を行う大腸がんの集団検診が行われています。ただし、前者は被爆するばかりかさながらの発見は困難です。そのため内視鏡検査によって、いかに早い段階で小さな早期がんを発見できるかが課題となっています。

現在では、簡易な検便検査(便潜血検査)が主流を占めています。実際に大腸進行がんの患者に検便検査をすると約90%の人に潜血陽性が出るものの、早期がんの人では、約半数にしか陽性反応が出ません。そのため、検便検査だけでは大腸早期がんの発見は困難とされています。また、実際に大腸がんの集団検診で見つかったがんの約10%は前年の検便検査では異常がなかったとの報告もあります。

40歳を過ぎたら一度、大腸内視鏡検査を受けることをお勧めしています。大腸がんの検査を希望される方は、ぜひ専門医に相談してください。

● 9月の救急医療機関 ●

平日

電話で時間外診療の協力医療機関をお知らせします。
当番病院案内ダイヤル
Tel.22-2299

休日

【内科・小児科】

診療時間 8時30分〜翌日8時30分
市立病院
Tel.22-4311 (大町2-2)

【外科】

診療時間 8時30分〜翌日8時30分
2日(日) 市立病院
9日(日) 滝川脳神経外科
16日(日) 滝川脳神経外科
17日(月) 市立病院
23日(日) 滝川脳神経外科
24日(月) 市立病院
30日(日) 市立病院
※市立病院
Tel.22-4311 (大町2-2)
※滝川脳神経外科
Tel.22-0250 (西町1-2)

【歯科】

診療時間 9時〜12時
2日(日) 秩父別歯科診療所
Tel.0164-33-2420 (秩父別町1548)
9日(日) 武内歯科医院
Tel.23-3525 (大町2-1)
16日(日) ぬまくら歯科
Tel.0164-22-5615 (深川市1条12)
17日(月) 啓南歯科医院
Tel.24-1020 (中島町4-1)
23日(日) 深川第一病院歯科口腔外科
Tel.0164-23-3516 (深川市あけぼの町1)
24日(月) アダチ歯科
Tel.65-2659 (奈井江町字奈井江46)
30日(日) 近藤歯科医院
Tel.0164-35-2538 (沼田町本通3-4)